

茨城県二級水系流域治水プロジェクト【施策一覧表】				令和6年度の取組
対策区分	実施主体	対象水系		
1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策				
(1) 洪水氾濫対策				
① 堤防整備、河道掘削等	県、市村	里根川水系、江戸上川水系、大北川水系、塩田川水系、 関根川水系、花貫川水系、小石川水系、十王川水系、東連津川水系、宮田川水系、鮎川水系、大沼川水系	【茨城県】 ○高萩工事 ・里根川、花貫川、十王川及び小石川において護岸改修工事を実施 ・大北川において河道掘削工事を実施 【高萩市】 ・準用河川玉川改修事業計画書作成委託を実施	
② 堆積した土砂の撤去	県、市村	全水系	【茨城県】 ○高萩工事 ・里根川水系ほかの浚渫を実施 【日立市】 ・茂宮川水系準用河川落見川外2河川の浚渫を実施 【高萩市】 ・関根川水系普通河川下手綱川の浚渫を実施 【北茨城市】 ・里根水系準用河川（関山川、境川）、江戸上水系準用河川（鹿ノ沢川）、普通河川（仁井谷川）、塩田水系準用河川（日棚川）、計5河川の浚渫を実施	
(2) 内水氾濫対策				
① 市街地浸水対策の強化 （下水道における雨水貯留施設・排水施設等の整備）	市村	大北川水系、大沼川水系	【北茨城市】 ・内水被害の低減が見込める施設の検討を実施	
(3) 土砂災害対策				
① 砂防関係施設の整備・維持管理	県	全水系		
(4) 流水の貯留機能の拡大				
① ダムの事前放流	県	十王川水系、花貫川水系、大北川水系		
(5) 流域の雨水貯留機能の向上				
① 森林整備、治山対策	林野庁、県	全水系	【林野庁・県】 ○茨城森林管理署、林業課 ・間伐 267ha ・山腹崩壊地等の整備 3箇所	
② 流域の関係者による雨水貯留浸透対策の強化 （開発行為等の雨水貯留・浸透対策の指導）	県、市村	全水系	【茨城県】 ○建築指導課 ・都市計画法に基づく開発許可申請等の際に雨水貯留浸透対策について審査・検査を実施 【日立市】 ・都市計画法第32条に基づき開発事業者と雨水貯留・浸透対策について協議	
③ 農業用ため池の治水利用促進に向けた検討	市村	全水系	【高萩市】 ・ため池の事前放流による水位調整を実施 【北茨城市】 ・二級水系に位置するため池の堤体や取水設備について点検を実施	
④ 水田貯留（田んぼダム）の取組促進に向けた検討	市村	全水系	【茨城県】 ○農村計画課、河川課 ・4市村に田んぼダムの効果や取組候補地の情報を提供し、取り組みの促進を図った 【日立市】 ・多面的機能支払交付金活動組織に対して、田んぼダムによる治水対策・効果や、交付金の加算措置制度を説明し、周知を図った 【北茨城市】 ・田んぼダムの取組促進に向けて試験導入を実施	
⑤ 雨水貯留施設の整備 （住宅の各戸貯留等）	市村	小石川水系、十王川水系、東連津川水系、宮田川水系、 鮎川水系、桜川水系、金沢川水系、大沼川水系、瀬上川水系、新川水系	【日立市】 ・住宅等に市が認定した雨水貯留槽を設置する者に対して助成を行う（令和6年度補助実績0件） 【北茨城市】 ・浄化槽雨水貯留施設転用補助事業設立、令和7年度施行 【東海村】 ・浄化槽転換・雨水貯留槽再利用補助事業を実施（令和6年度補助実績3件）	
⑥ 雨水貯留施設の整備等 （防災調節池、校庭貯留等）	市村	大沼川水系、関根川水系、里根川水系、塩田川水系		
2. 被害対象を減少させるための対策				
(1) 水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫				
① リスクが高い区域における立地抑制、移転誘導 （災害危険区域指定、立地適正化計画の策定）	県、市村	全水系	【茨城県】 ○都市計画課 ・日立市及び高萩市にて、防災指針の策定を含めた立地適正化計画の改定作業 ・日立市及び高萩市の計画改定作業の進捗に応じて、個別に打合せを実施し、情報提供や技術的助言 【日立市】 ・防災指針の追加を含めた立地適正化計画の改定作業を実施（R7.4公表予定） 【高萩市】 ・防災指針の策定を含めた立地適正化計画改定（R6.9） 【北茨城市】 ・立地適正化計画策定作業中（R7年度内公表予定）	
② リスクが高い区域における立地抑制、移転誘導 （家屋移転、住宅嵩上げ等）	市村	小石川水系、十王川水系、東連津川水系、宮田川水系、 鮎川水系、桜川水系、金沢川水系、大沼川水系、瀬上川水系、新川水系	【日立市】 ・個人住宅の浸水対策（防水板設置、住宅かさ上げ）を行う者に対して助成を実施 防水板設置工事 5件 住宅かさ上げ工事 0件	
③ まちづくりと一体となった土砂災害対策の推進 （土砂災害警戒区域の指定）	県	全水系		
3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策				
(1) 避難体制等の強化				
① 水位計・河川監視カメラの設置・周知	県、市村	全水系	【茨城県】 ○高萩工事 ・監視カメラを里根川（北茨城市）、東連津川及び鮎川（日立市）の3河川で3基設置 【高萩市】 ・ワンコイン浸水センサ実証実験の申し込みを行い、令和7年度より設置予定	
② 洪水浸水想定区域図・洪水ハザードマップ及び雨水出水浸水想定区域図・内水ハザードマップの作成・周知	県、市村	全水系	【茨城県】 ○高萩工事 ○北茨城市、高萩市、日立市において、洪水浸水想定区域図作成 ○下水道課、防災・危機管理課 ・雨水出水浸水想定区域図の早期作成を図るため、市町村を技術的に支援 【日立市】 ・令和4年度に作成した総合防災マップ（Web版ハザードマップ含む）を周知 ・県管理河川の洪水浸水想定区域図の公表を受け、Web版ハザードマップを更新 【高萩市】 ・すでに公表されている、花貫川及び関根川の洪水浸水想定区域については、平成30年度にハザードマップを作成し、市民への全戸配布及びHP等での周知を実施 ・令和6年度に策定予定の洪水浸水想定区域については、令和7年度に洪水ハザードマップを作成し、市民へ周知 【北茨城市】 ・今後、洪水浸水想定区域が作成される予定のその他の河川については、想定が公表され次第、洪水ハザードマップを作成し、市民へ周知	
③ 防災教育の実施 （講習会によるマイ・タイムライン普及促進や避難訓練の実施等）	県、市村	全水系	【茨城県】 ○防災・危機管理課 ・住民や児童・生徒を対象としたマイ・タイムライン作成講座を実施 ・市町村と連携した避難力強化訓練の実施 ・全市町村に対して、本格的な台風シーズン前の避難訓練の実施を働きかけ ⇒ 全市町村で実施済 ・小学校等におけるVRゴーグル（災害疑似体験）を活用した防災教育の実施 【日立市】 ・水戸地方気象台の気象予報士等を講師として招き、自主防災組織を対象としたマイ・タイムライン講習会を実施 【高萩市】 ・住民を対象とした出前講座を実施し、マイ・タイムラインの普及促進 ・6月に台風被害による河川氾濫・土砂災害を想定とした高萩市総合防災訓練を実施 【北茨城市】 ・6月に「我が家のタイムライン」、8月に「津波避難マイ・タイムライン」の作成支援チラシを全戸配布した他、当市の夏祭りにおいて防災ブースを設置し、マイ・タイムラインの普及促進 【東海村】 ・地区防災訓練時の講習会（令和6年8月3日実施）において、マイ・タイムラインの作成手順を含めた普及活動を実施 ・各地区からの依頼により防災講話の講師派遣	
④ 防災メール、防災行政無線等を活用した情報発信の強化	県、市村	全水系	【茨城県】 ○防災・危機管理課 県防災情報メールやポータルサイト、X（旧Twitter）などの災害情報発信を実施 【日立市】 ・市の防災・防犯情報配信サービス「安心ひろめるプラス」を提供 （配信ツールとして「LINE」を追加） 【北茨城市】 ・防災メールの普及促進の他、ハザードエリア内の携帯電話が使用できない高齢者等に対し、防災行政無線の戸別受信機の無料貸与を実施し、防災情報発信の強化を図った 【東海村】 ・水害からの避難を想定した避難の呼びかけ訓練（令和6年7月24日実施）において、防災行政無線及びSNSを活用した災害情報の伝達訓練を実施	
⑤ 要配慮者利用施設の避難確保計画及び避難行動要支援者の個別避難計画の作成促進	県、市村	全水系	【茨城県】 ○防災・危機管理課 ・要配慮者利用施設の避難確保計画の作成率向上に向け、庁内関係課と連携した市町村及び施設への働きかけ ・個別避難計画の作成促進及び避難支援体制の構築に向け、福祉部局と連携した市町村への働きかけや助言の実施 【日立市】 ・主にハザードエリア内の居住者について、個別避難計画の作成を実施 （福祉総務課主体で、コミュニティ単位の協力を得ながら作成を進めている） ・要配慮者利用施設の追加指定に伴い、避難確保計画の作成義務が生じた施設に計画作成を促進 【高萩市】 ・要配慮者利用施設の避難確保計画はすべての施設において作成されているため、新規施設においても計画が作成されるよう、引き続き働きかけを実施 【北茨城市】 ・要配慮者利用施設の避難確保計画はすべての施設において作成済 また、避難行動要支援者の個別避難計画については、福祉部局において優先度の高い方から順次作成を進めており、引き続き、計画作成を促進 【東海村】 ・新川が洪水浸水想定区域に指定（令和6年11月）されたことにより、エリア内の社会福祉施設を「要配慮者利用施設」として、地域防災計画で指定（R7.2） ・避難行動要支援者の個別避難計画作成を促進	

※留意点
・上記の対策は、代表的な事例を記載している。